

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																										
大原医療福祉製菓専門学校梅田校	平成16年3月31日	重塚 悟	〒530-0051 大阪府大阪市北区太融寺町2-14 (電話) 06-6130-7416																										
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																										
学校法人大原学園	昭和54年4月1日	中川 和久	〒101-0065 東京都千代田区西神田1-2-10 (電話) 03-3291-0151																										
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																									
衛生	衛生専門課程	製菓学科	平成27年文部科学省 告示第13号	-																									
学科の目的	本学科は教育基本法および学校教育法に基づき、企業と連携し、実習を通して製菓・製パンに関する高度な知識・技術を習得することを目的とする。具体的には、製菓衛生師の資格取得およびパティシエ、ブーランジェに必要な知識・技術、これらに付随する関連知識・技術に関する教育を施し、人格の陶冶を行い、実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とする。																												
認定年月日	平成 29年 2月 24日																												
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																							
2	1700時間	970時間	0時間	1030時間	0時間	0時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																								
64	19	2	3	4	7																								
学期制度	■1学期:4月1日～8月31日 ■2学期:9月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 優、良、可、不可の4種 定期試験																									
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏 季:7月下旬～8月下旬 ■冬 季:12月下旬～1月上旬 ■春 季:3月下旬～4月上旬 ■学 年 末:3月31日		卒業・進級 条件	1,700授業時間数以上履修し、かつその該当する所定の授業科目について合格に達した者																									
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任を中心に本人・保護者へヒアリング・指導を行い、問題を1つずつ解決しながら、学校へ復帰できる環境作りを行っている。		課外活動	■課外活動の種類 全日本電卓競技大会 運動系クラブ活動 ■サークル活動: 無																									
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) ㈱エーデルワイス、㈱オールハーツ・カンパニー、イオンペーパー、アルヘイム㈱、㈱ロイヤルホテル ■就職指導内容 全体指導によるレクチャー、個別面接トレーニングなど <table border="1"> <tr><td>■卒業生数</td><td>10</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数</td><td>8</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数</td><td>8</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率</td><td>100</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合</td><td>80</td><td>%</td></tr> </table> ■その他 ・アルバイト: 2人 (平成 30 年度卒業生に関する 平成31年5月1日 時点の情報)		■卒業生数	10	人	■就職希望者数	8	人	■就職者数	8	人	■就職率	100	%	■卒業者に占める就職者の割合	80	%	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他(民間検定等) (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製菓衛生師</td> <td>②</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 丹波菓新商品オーデション2018 3名が商品化			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	製菓衛生師	②	8人	7人
■卒業生数	10	人																											
■就職希望者数	8	人																											
■就職者数	8	人																											
■就職率	100	%																											
■卒業者に占める就職者の割合	80	%																											
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
製菓衛生師	②	8人	7人																										
中途退学 の現状	■中途退学者 4名 ■中退率 13.8 % 平成30年4月1日時点において、在学者29名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者24名(平成31年3月31日卒業生を含む)和歌山校製菓コースへ転校1名あり ■中途退学の主な理由 学業不振、学校生活不応、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 中途退学の兆しとして、欠席・遅刻・早退の増加、授業への集中力の欠如及び検定試験への受験意欲の低下などに現れる。よって、以下の内容を防止策として取り組んでいる。 (1)欠席等の防止 一定の欠席累計到達者に対する面談による改善指導など (2)学習に対する意欲低下 目指す職業に就くためのカリキュラム(検定試験含む)の必要性を説明するガイダンス等を定期的に実施する。 (3)その他 学校行事などの運営(運動会・球技大会・研修旅行(海外・国内))																												
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ①試験による特別奨学生制度: がんばる人を支援するために「試験による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原独自の特別奨学生試験の結果に応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。 ②資格・クラブ活動による特別奨学生制度: がんばる人を支援するために「資格・クラブ活動による特別奨学生制度」を実施しています。この制度は、大原学園入学までに取得した資格や成績を一定のランクに認定し、そのランクに応じて入学金・授業料の全額または一部を免除するものです。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ■民間の評価機関等から第三者評価: 無																												
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																												
当該学科の ホームページ URL	https://www.o-hara.ac.jp/osaka/senmon/school/umeda/iryo/																												

(留意事項)

- 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください
- 就職等の状況(※2)
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
 (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
 ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者から除いたものをいいます。
 ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者を行い、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
 ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
 ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進
- 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ①卒業生の子な就業先である菓子製造・販売施設と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②製菓分野における学修の中心となる実習の技術知識、接客スキル、その他ビジネススキル等の教育内容に関して、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- ④当学園の教育課程の編成は一部の学科を除き学園本部が統括している。そのため教育課程編成委員も各分野ごとに各校共通の組織を設置する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議策定するための機関として位置づける。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用していく。

②意思決定の過程について

(ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。

(イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。

(ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全校の教育課程編成にも活用していく。

(エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、副校長、教務部長が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
松島 俊哉	大阪府洋菓子協会	2018年4月1日 ～2020年3月31日	①
服部 勸央	パティスリーラヴィルリエ オーナーシェフパティシエ	2019年4月1日 ～2021年3月31日	③
重塚 悟	大原医療福祉製菓専門学校梅田校 校長	2018年4月1日 ～2020年3月31日	
野村 智之	大原医療福祉製菓専門学校梅田校	2018年4月1日 ～2020年3月31日	
堀 美紀子	大原医療福祉製菓専門学校梅田校	2018年4月1日 ～2020年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回開催する。

第1回:7月「前年度教育成果の振り返り」

第2回:11月「今年度の課題整理と次年度以降教育内容の見直し」

(開催日時(実績))

平成30年第1回 7月18日 15:50～17:00

平成30年第2回 10月12日 16:00～17:00

令和1年第1回 7月17日 16:20～17:20

(予定)令和1年第2回 11月13日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ① 店舗実習の時期や期間・実施内容の見直しを行った
 - ・12月1日～16日までの期間中10日間で実施
- ② 外部コンテストへの参加機会増加について検討
 - ・丹波栗新商品オーデションへ参加し3作品が商品化
- ③ 実習授業における修得目標と目的の明確化による指導レベルの統一を行う
 - ・基礎実習につき、シラバスへの修得目標技術と修得目的の追加を行った。
 - ・基礎実習の実技テストにつき、年間予定と実施方法、到達目標レベルを明確化し、事前に学生告知を行い、学生が目標を持って授業に取り組めるよう体制を整えた。
- ④ 就職先の特性を理解し、それぞれに合った就職活動ができるように多様性を学ぶ機会を設ける。
 - ・就職前の2年生に対し、洋菓子店オーナーよりお話を頂く機会を設けた。次回は1年生に就職活動前にお話をさせていただく予定。

上記①の改訂により内定先への実習調整が可能となり、真剣に取り組むことができた。また、外部実習まで十分な準備期間ができた。

②の改訂により参加すること自体が、よい経験となった。外の世界を見ることで、自分がどのレベルにいるのかを、客観的に理解し確認ができた。地方都市主催のコンテストは実施の有無が不確定のため、継続的に出品可能なコンテストを確認する必要がある。

③の改訂により教員の意識統一を図ることができたが、その他全ての実習において同様に修得目標・目的を明確化し、指導レベルの統一を図っていく必要がある。引き続き実務に直結した知識・技術の修得のためのカリキュラムの見直しと引き続き、実習授業における修得目標と目的の明確化による指導レベルの統一について意見をいただき、検討課題とした。

④の改訂により入社前の学生にとって意識付けとなった。また、就職先の特性を理解し、それぞれに合った就職活動ができるように多様性を学ぶ機会を設けることができた。

⑤平成31年度変更計画

- ・コミュニケーション力・プレゼンテーション力・企画力を養うため外部コンテスト参加の検討
- ・学生のキャリアプラン作成の導入

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- ① 学校又は学生住居地近郊の製菓製造・販売施設において受入指導体制が整っており、実習及び見学の実績のある施設、または、学生の実習受け入れの実績がある施設を選定している。
- ② 企業等との連携による実習・演習を通じて学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を実現する。
- ③ 企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を仰ぐ。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

製菓実習の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義内容の質向上のために連携している。

- ① 実習授業内容構築へのサポート
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③ 授業方法に関する教員への指導
- ④ 学生の学修習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
店舗運営実務	実際の菓子製造・販売施設での実習を経て、現場での業務内容を理解するとともに、現場で必要とされる知識・技術・マナーを身に付けることを目的とする。	株式会社ロイヤルホテル、イオンベーカリー株式会社、株式会社パンパドウル、株式会社かめいあんじゅ、株式会社エーデルワイス、株式会社オールハーツ・カンパニー

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②企業等専門分野に特化した講師として招いた研修会の実施
- ③学内に設置される附帯教育講座を利用した自己啓発

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「2018 JCA 全国講習会 兵庫会場 乳製品・カカオと洋酒」
(連携企業等:一般社団法人日本洋菓子協会連合会 / 一般社団法人 兵庫県洋菓子協会)

期間:平成30年9月19日(水) 対象:製菓学科担当教員1名

内容:乳製品とチョコレート、洋酒を使った洋菓子の技術講習会

- ・Bouquet
- ・Sofia
- ・Cavaillon
- ・Cake
- ・American cookies

研修名「HACCP(ハサップ)導入セミナー」

(連携企業等:大阪府健康医療部職の安全推進課)

期間:平成31年2月27日(水) 対象:製菓学科担当教員1名

内容:HACCPの考え方を取り入れた衛生管理計画を作ってみよう!

- ・法改正とHACCP制度化
- ・HACCPの考え方を取り入れた衛生管理計画を作ってみよう!
- ・大阪版食の安全安心認証制度の活用術

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「人権教育研修 クラスづくり」(連携企業等:一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会)

期間:平成30年6月15日(金) 対象:製菓学科担当教員1名

内容:参加型体験学習法によるクラスへの関わり方について体験・省察・展開と学習活動を展開しながら考えていく。

- ・関係性づくりの第一歩(エピソードカードを使用したグループワーク)
- ・教員が与えるイメージ・影響とは(ジョハリの窓)
- ・関係性づくりで大切なこと(リレーションづくり)

研修名「学生に対するマナー指導力向上研修」(連携企業等:株式会社アクトプランニング)

期間:平成30年8月1日(水) 対象:製菓学科担当教員2名

内容:学生との信頼関係を築くマナー指導を学ぶ

- ・モチベーションの向上
- ・受容懸念と承認欲求
- ・企業に於けるマナーの重要性
- ・マナーの基本(あいさつ、基本動作)
- ・効果的な指導法(基本動作、ボイストレーニング)

研修名「人権教育研修会X ケースワークについて学ぶ」(連携企業等:一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会)

期間:平成30年12月14日(金) 対象:製菓学科担当教員1名

内容:不登校傾向のある生徒への支援について学ぶ

- ・若者の自立支援の現場からの意見
- ・若者自立支援のプロセス
- ・ケーススタディ

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「チョコレート講習会」(連携企業等:一般社団法人 大阪府洋菓子協会)

期間:令和1年7月22日(月) 対象:製菓学科担当教員1名

内容:ボンボンショコラとプティピエスモンテ

- (ジャパンケーキショー2018 コンフィズリー部門 連合会会長賞受賞作品)
- ・ボンボンショコラのデモンストレーション及び実習
- ・ピエスモンテのパーツの取り方等

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「人権教育研修会9 教職員のための指導力向上講座①」(連携企業等:一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会)

期間:令和1年10月28日(月) 対象:製菓学科担当教員1名

内容:活力あるクラスづくりのための指導力向上講座

研修名「【集団(場)の見方】～プロセスを体験的に学ぶ～」(連携企業等:キャリアポート Office AOKI)

期間:令和元年11月25日(月) 対象:クラス担任教員

内容:人権教育研修の一環として指導力の向上研修

研修名「【活力あるクラスづくりのための指導力向上】～カウンセリングアプローチの活用を学ぶ～」

(連携企業等:キャリアポート Office AOKI)

期間:令和元年11月25日(月) 対象:クラス担任教員

内容:人権教育研修の一環として指導力の向上研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員を設置して下記に示す評価項目から評価する。評価結果については、学校長を通じて即座に次年度の学校運営に反映させる。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特徴はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。
(2)学校運営	①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。
(3)教育活動	①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑤授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑥育成目標に向け授業を行う事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑦成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑧資格取得の指導体制はあるか。
(4)学修成果	①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援が整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ①学生募集活動は、適正に行われているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。
(11) 国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

平成30年度は重点課題として実学教育と人格育成教育を引き続き入学直後よりプログラムに組み込み、学生から社会人へ自立出来るよう教育内容を修正し、社会貢献できる人材の育成に注力いたしました。資格取得率を向上させるために、難易度が上昇している資格試験については、外部のセミナーへの参加等を通じて職員の知識力向上に努め、学生へのフィードバックを実践して参りました。留学生に対する指導に関しては、法令の遵守は勿論のこと入口のみならず出口にも力を注ぎ、学習内容に即した就職先の斡旋等優秀な留学生を輩出できるよう体制を整えております。保護者との連携においても報告書の発送、定期的なメール配信に加え、電話で直接お話する機会を多く作り、保護者の生の声を聴くようにいたしました。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
服部 勸央	パティスリーラヴィルリエ オーナーシェフパティシエ	2019年4月1日 ～2021年3月31日	企業等委員
林 努	林歯科医院 医院長	2019年4月1日 ～2021年3月31日	企業等委員
山田 豊	友誼会総合病院 事務長	2019年4月1日 ～2021年3月31日	企業等委員
田川 淳	社会福祉法人 寿楽福祉会 吹田市立千里山西デイサービスセンター 所長	2019年4月1日 ～2021年3月31日	企業等委員
竹原 庸起子	ひまわり法務FP事務所 代表行政書士	2019年4月1日 ～2021年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <http://www.o-hara.ac.jp/about/hvoka/>

公表時期: 令和1年10月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

① 実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。

② また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。

③ 情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	①学校の概要 ②目標・方針・特色 ③所在地、連絡先 ④学校の沿革
(2) 各学科等の教育	①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	各学科の実習紹介
(5) 様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②クラブ活動
(6) 学生の生活支援	学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声)
(7) 学生納付金・修学支援	①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介
(8) 学校の財務	学園の財務状況公開
(9) 学校評価	学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	留学生の募集
(11) その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.o-hara.ac.jp/about/hvoka/pdf/2019/financial-overview.pdf>

授業科目等の概要

(衛生専門課程製菓学科)															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			衛生法規	製菓衛生師法をはじめ、食品を扱う職業人にとって特に必要な食品衛生法、更に健康志向の高まりの中で知識として持つておかなければならない健康増進法、地域保健法等についても学習をする。また、独立開業時の法的手続きなど、実践的な知識も修得する。	1 ①	30		○			○		○		
○			公衆衛生学	健康を確保し生命を守るために国や地方公共団体がどのような取り組みをしているかについて学習する。また、菓子製造施設においても、衛生管理や従業員の健康管理が必須となることから、現場における安全衛生の理解についても深める。	1 ② ③	90		○			○			○	
○			食品学	食品の細かい分類から成分、保存方法や加工方法に至るまで幅広く学習する。また、国内の食糧事情についても触れ、これに伴い世界の食糧問題や地域環境問題についても理解を深める。	1 ①	60		○			○			○	
○			食品衛生学	製造・販売から、商品がお客様の口に入るまでの過程に関わる健康危害の要因と、その防止方法について学習する。製菓衛生師として大きく関わってくる食中毒を中心に、安全で安心な食品を提供するための知識や責任感といったプロ意識も同時に身に付ける。	1 通	150		○		△	○			○	
○			栄養学	人体を構成している栄養素の働きに加え、消化吸収や代謝など栄養素が人体に取り込まれるに至るまでを学習する。また、食生活と病気の関係など、実生活における健康保持・増進のための正しい知識を得る。	1 ①	60		○			○			○	
○			社会	菓子の歴史や食生活における菓子の意義について学習する。また、流通や販売・労務管理について学習をすることにより、菓子・パン店の独立開業に必要な知識を身に付けるとともに、顧客ニーズの分析とそれに応じた新規商品の開発など、実際の経営に必要な知識も修得する。	1 ②	60		○			○			○	

○		製菓理論	製菓・製パンの技術を学習するにあたり、事前知識の修得として原材料の細かい分類や成分、その働きについて学習する。これらをしっかりと理解することで、感覚的な技術ではなく理論的な技術の向上を図ることを目的とする。	1 通	150		○		○	○									
○		専門実習	基礎実習で身に付けた知識や技術を基に、更なる技術の修得を目指す。	1 通	240				○	○								○	
○		応用実習	基礎実習・専門実習で身に付けた知識や技術を基に、技術コンテストへの出品や創作菓子の作成などハイレベルな技術の修得を目標とする。	2 通	420					○	○							○	
○		店舗運営基礎	菓子製造・販売店舗に必要な、ラッピングや販売管理等について学習する。	2 1 通③	120		○	△		○								○	
○		店舗運営実務	菓子製造・販売店舗での職務理解を目的とし、連携店舗で現場実習を行う。また、実習を有意義なものにするため、実習前後の指導についても行う。	2 1 通③	190					○	○	○						○	○
○		職業実践演習	社会に出るにあたって必要となるビジネスマナーをはじめ、菓子製造・販売店舗に必要な接客マナーについても学習する。	2 1 通③	250		○	△		○								○	
合計				13 科目		2000単位時間(単位)													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p>(試験)</p> <p>1. 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によってこれを定める。ただし、授業科目によってはその他の方法で査定することができる。</p> <p>2. 試験には定期試験、追試験および再試験等がある。追試験はやむを得ない事故等により定期試験を受けなかった者に対して行い、再試験は受験の結果、不合格となった者のためにこれを行う。</p> <p>3. 追試験および再試験は、本校において必要と認めたとときに限り、これを行う。</p> <p>(学業成績)</p> <p>学業成績の判定は優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。</p> <p>(卒業)</p> <p>本校に在学し、下記に定める授業時数以上履修し、かつ、その該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p> <p>(1) 製菓学科2年制は1,700時間</p>		1学年の学期区分	3期
		1学期の授業期間	15週
<p>(留意事項)</p> <p>1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。</p> <p>2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。</p>			